

製本のススメ

Vol. 192

一年延期したオリンピックが開幕ですね。両手放しに喜べないのは残念です。弊社の近くにある武蔵野の森公園では、自転車競技がスタートの予定で着々と準備が進んでいますが感染者数が増加の中 無事に閉幕できますようにと祈るばかりです。

今回も**製本工程から見た造本企画の注意点**のシリーズ⑤です

今更ですが、造本企画の際には製本仕様も決める必要があります。無線綴じにするのか、アジロ綴じにするのかで**印刷の面付け位置が微妙ですが変わります**。まだまだ「無線綴じ」と「アジロ綴じ」の違いが理解されていないようで**無線綴じの指示なのに、本文のノド側にミーリング代が無い。或いはアジロ綴じなのに、本文中のペラのノド部分にドブが付いている等、いずれにせよ後加工には大きな問題が残ります**。もしも小口に輪郭やインデックスがあれば、この影響は大きく出ます。輪郭物ならばバランスが悪くなり インデックスならば文字切れの発生や 逆にインデックス部分に白が出てしまうなど その修正に製本加工では大きな時間を取られます。また見開きで柄合わせが有るような場合にも大きな影響が出ます。

上質で軽印刷の少数冊子ならば、ペラに仕込み直せば救済の可能性は高まりますが、**カラーや量産冊子では加工コストに大きな負担も掛かります。最悪の場合 刷り直しともなりかねません**。

不得手な分野では予め加工会社と打ち合わせを済ませ 若干面倒でも不明点は確認をしておきましょう。**僅か数ミリの違いで出来上がりに大きな差が出てしまう**のが本造りです。多くの人や会社が係わる事も多い印刷製本の現場では文言や認識を共有し各分野で共通の常識レベルを持つことが企画印刷側にも後加工側にも必要です。自社の常識が他社の非常識で無いように簡易でもイメージサンプルを作るなどして情報共有も必要です。

まずは「アジロ綴じと無線綴じ」この違いはしっかりと覚えておきましょう。



Tea break

最近、ポツリと雨粒が落ちてきたかと思うと、次の瞬間 大雨になるので油断大敵です。さて雨と言えばカタツムリです。彼らは雌雄同体の生物で交互に精子を交換して両方が卵を産む仕組みになっています。卵は一カ月ほどで殻が割れて、中からカタツムリの形の赤ちゃんが出てきます。まだ殻の渦は 1.5 巻程度。成長するにつれて 3 巻 4 巻と渦が増えていきます。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本